



11月12・13日開かれた第17回全国女性交流集会



No.390

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
Eメール chian@plum.plala.or.jp  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

# 破綻したイラクへの武力侵略 輝く憲法9条を生かす政治へ

二〇〇六年が終わろうとしています。十一月のアメリカ中間選挙は、イラク侵略など「九・一一」以来のブッシュ武力外交の破綻を示しました。南米各国にみられるように世界では民主的政権がぞくぞく誕生しています。

それにもかかわらず、アメリカとの「血の同盟」に従う安倍首相は、子どものためより国のための教育基本法改悪を衆院で強行可決させ、「防衛省」と海外活動を主任務とする自衛隊法改悪、さらには「核武装」論議まで公言するなど、「戦争を放棄」した戦後政治体制を根底からおびやかす暴挙・暴言をくりかえしています。

安倍内閣はまた、小泉内閣による大企業減税約二兆九千億円、庶民には大増税の五兆二千億円という国民収奪をつよめ、来年参院選後に消費税増税を狙っています。

私たちは、戦争する国づくりに走る危険な安倍内閣に対し、「ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利」(憲法前文)を守るとともに、同盟として国賠署名を持って政府に戦争と暗黒政治に対する反省を迫り、輝く憲法9条を生かす二〇〇七年を迎えようではありませんか。

## 主 な 記 事

第17回全国女性交流集会開く	2
同盟回顧・2006年	3
国内外の動き	4
同盟歌壇/碓田のぼる選	5
書棚/『孫に語る 戦前と戦後』	7
同盟中央がホームページ開設	8

# 平和の証し「九条」を守り国賠署名の先頭に 女性会員交流の輪をひろげましょう

## 第17回全国女性交流集会開く

11月12、13日の二日間、第17回全国女性交流集会が熱海・ホテル池田で開かれました。参加者は全国29都道府県から七五人。赤ちゃんづれのお母さんなど初参加者も多く、活気ある集会となりました。ここでは治安維持法犠牲者の体験と記念講演、沖縄報告、まとめについて紹介します。

正しいことを正しいと言える社会を

水谷安子 (93歳)



私の幼年期の過酷な生活は、その後の生きる土台になっています。昭和3年

から富山女子師範学校に在学中、憲法学者の田畑忍先生御夫妻を知り社会意識にめざめ新興教育運動に参加しましたが警察に逮捕、退学処分となり、教師への夢も敗れ、上京して託児所や町工場を点々として働きました。正しいと思いいつと正しと言えはすぐ生活手段まで奪われ監獄に入るといふ恐ろしい時

代でした。昭和19年3月、私たちが一家が突然警察に襲われました。姉が戦争の被害と苦しさからたま

たま友人に天皇への激しい批判をしたことから、密告され、それをもとで私たち三人姉妹と別件で夫も検挙。私は一年七カ月の牢獄生活を戦争末期に送りました。

戦争を批判したことでたくさんの方が捕まり亡くなりました。私たち一家は、ポツダム宣言で生命を回復しました。

いま憲法九条を改悪されれば再び戦争です。治安維持法という人間の自由、生命の自由を奪う状態がくることは明らかです。私の体験から命をかけて闘います。

戦争と弾圧の時代を生きて

松崎濱子 (93歳)



侵略戦争の時代は同時に弾圧に次ぐ弾圧の

時代でした。その中で地下鉄の職場で賃下げ反対のストを闘い逮捕されました。私は一生貧乏をなくすこと、平和のために闘う決意は、これからも大切にしていきたいと思えます。

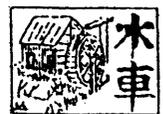
勉強してただけで懲役刑

市吉澄枝 (84歳)



昭和15年頃、兄が東大事件で捕まり、私も

その影響を受けているいろいろな本を読み、友人の岸本さんと二人で勉強を続けていました。しかし彼女が捕まり芋づる式に私も捕まりました。彼女は戦後の昭和20年10月2日、治安維持法廃止の直前に懲役二年の判決を受けているのです。この判決文書は、彼女の妹さ



「帝国陸海軍は今八日未明、西太平洋においてアメリカ・イギリス軍と戦闘状態に入れり」65年前の12月8日朝の臨時ニュースです

「日本国民の気分は一気に高まり、長い日中戦争の陰うつな気分が一変した」。これは例の「つくる会」の教科書の記述です。しかし、この日から天気予報はなくなり、常時燈火管制で陰うつな日が始まります。翌日には宮本百合子ら一斉検挙、中国への侵略戦争の行きづまりで、まったく自暴自棄の開戦。大悲劇の始まりでした。同日の天皇の「宣戦の詔書」に閣僚として署名した岸信介の孫安倍首相は、祖父の意をついで、また「戦争の道」へ国民を引きずり込むのに懸命です。集団的自衛権を研究、教育基本法改悪、愛国心、日の丸・君が代、そして靖国、憲法改悪...だが、歴史を逆転させない国民の力は、大きく成長してゆきます。この日全国各地で「戦争ゆるすな」の集会・街宣・署名運動が終日列島をゆるがしました。

んが千葉警察にまで行って調べ、  
 やつと写すことが出来ました。そ  
 こには、「岸本みつ子」(当時23  
 歳)。「治安維持法違反事件につ  
 き、…判決すること次の如し」と  
 して「懲役二年、四年間の執行猶  
 予」。その理由は「山田幾太郎の  
 『日本資本主義分析』、レーニン  
 著『レーニン主義の基礎』等を勉  
 強していた」と。これが罪状とな  
 って懲役刑です。国を愛するとは  
 国のために犠牲になれ、国民は絶  
 えても国を守れ、『国体を護持せ  
 ん』ということ。私も九条を  
 守るため活動しています。

いま戦争責任を問う

記念講演・近代日本文学と中国

祖父江昭二



日本は中  
 国文化の影  
 響を古代か  
 ら受けてき  
 ました。しかし日本が「富国強兵」  
 政策をとるようになると、日本の  
 民主主義を体現していると言われ  
 た福沢諭吉も「脱亜入欧」を目標  
 にするという、日本の民主主義の  
 底の浅さを感じさせました。  
 日中戦争に入ると、侵略したと  
 いう意識もなくなり、例えば佐藤  
 春夫は共に中国文学者だった郁達  
 夫という人物をのちにスパイ扱い  
 にし、郁は後に日本の憲兵に殺さ  
 れます。郁は「普段は清廉潔白ぶ  
 って中国の友だと自負している  
 が、戦争といった重要な時期に直  
 面すると娼婦以下になる」と批判

〈感想〉山根 郁ゆき  
 国賠同盟に入ってから2か月、初め  
 て女性部の全国大会へ参加しまし  
 た。戦争をする国への準備を許さない!  
 そんな強い思いで成功させた。岩国へ  
 の空母艦載機移駐を問う住民投票。  
 私なりの取り組みを皆さんに知って  
 いただけたら……。  
 治安維持法の実際の犠牲者の方々の  
 話を聞くことができ、他の多くの先輩

方が全国で頑張っておられる生き生き  
 とした話を聞く中で、「とにかくスゴイ  
 体験だぞ」と鳥肌が立つような思いで  
 した。  
 子連れでの参加は意外に大変で、会  
 の半分ほどは進行に集中できず残念で  
 したが、はじめの一步で全国の運動を  
 知ったことは私にとって幸運でした。  
 その中で私にできることをしっかりと  
 掴み、できることから実践していくこ  
 とだと思っています。(山口県)

していました。日中戦争に協力し  
 た佐藤は、戦後「われわれは如何  
 にも無力ですが、その無力のおか  
 げで正義と人道等を愛する念が傷  
 つけられていないという自信があ  
 ります」と。ここまで書けるとい  
 うことは自分の過去を忘れること  
 ができるからだろうか。  
 戦後、「俺も悪かった」という  
 ことを言わない人々が多数派を占  
 めています。僕たち少数派はどう  
 したら多数派になれるかが今突き  
 つけられているのです。

瀬長亀次郎と母フミの闘い

沖繩 内村千尋



いま沖繩  
 知事選挙の  
 真っ最中で  
 す。二年前

この集会では、沖繩の国際大学  
 に米軍のヘリコプターが落ちたこ  
 とを報告しましたが、今回は犠牲  
 者の家族のことを話します。母フ  
 ミが93歳で健在ですが、「かじま  
 や祝い」というお祝いを記念して  
 『瀬長フミと亀次郎 届かなかつ  
 た獄中への手紙』(内村千尋編著)

を出版しました。

これは発行前から新聞等で大き  
 く取り上げられましたが、最近ア  
 メリカ側の資料から、家族にまで  
 弾圧が及んでいた事実が次々と出  
 てきたからです。例えば父亀次郎  
 には占領時代から尾行がついてい  
 て、米軍が犯した犯罪行為、スパ  
 イ活動、尾行、手紙抜き取りなど  
 が見つかっています。父は戦前は  
 治安維持法によって投獄されてい  
 ますが、戦後は一九五四年からず  
 つと日記を書き残しており、尾行  
 の事実がアメリカ側の資料とも一  
 致しています。また母も第四回母  
 親大会参加の時も尾行されてお  
 り、また東京で勉強していた姉に  
 対しても監視されていました。姉  
 が送った父への手紙、父が母に出  
 した手紙、姉の友人達の父への激  
 励文なども一切届けられず、アメ  
 リカ側の資料館にありました。占  
 領時代の沖繩の実状をぜひこの機  
 会に知ってほしいと思います。ま  
 た祖国復帰後も続く沖繩の性暴力  
 について又の機会に報告したいと  
 思います。

〈6ページへ続く〉

同盟回顧・2006年

04年12月3日 婦人団体連合総会

12月4日 国際人権活動日本委員会総会

12月8日 葛飾ヒラ弾圧事件第7回公判

12月10日 日本国際法律家協会総会

12月13日 東京女性交流集会報告会

12月15日 古川苞墓前祭

12月20日 「時代を撃て多喜一」全労連会館上映

12月22日 3・8国際女性デー実行委員会

12月23日 葛飾ヒラ配布不当弾圧一周年記念集

会

1月13日 3・8国際女性デー実行委員会

1月17日 日本国際法律家協会理事会

1月24日 中央三役会議

1月25日 新春中央理事会

1月26日 国際人権活動日本委員会

1月28日 3・8国際女性デー実行委員会

2月1日 葛飾古川苞没後70周年実行委員会

2月10日 3・8国際女性デー実行委員会

2月16日 日本国際法律家協会理事会

2月17日 多喜一祭

2月20日 沼田秀郷同盟顧問が死去

同 3・18無名戦士合葬祭実行委員会

2月22日 国際人権活動日本委員会幹事会

2月24日 春を呼ぶつどい(東京女性部)

3月8日 3・8国際女性デー

3月9日 葛飾ヒラ弾圧事件第9回公判

3月15日 古川苞没後70周年不屈の戦いに連帯



5月15日 杉浦法務大臣に面会

5月16日 国会請願行動

5月17日 中央三役会議

5月18日 角田参議院副議長に面会

5月18日 22日 国際部中国訪問視察

5月19日 葛飾ヒラ弾圧事件第11回公判

5月19日 全労連会館5周年記念レセプション

6月1日 葛飾ヒラ弾圧事件第12回公判

6月2日 婦団連幹事会シンポジウム

6月3日 日本国際法律家協会幹事会

6月5日 日本国際法律家協会外務省交渉

6月15日 国際人権活動日本委員会世界社会フォーラム参加準備会

6月21日 日本国際法律家協会世界社会フォーラム参加準備会

6月22日 中央三役会議

国内外の動き

05年11月16日 小泉純一郎首相とブッシュ米大統領が京都で会談 地球規模で一層の同盟強化をはかることで一致

12月18日 ポリビアの大統領選挙で先住民出身で農民運動の指導者のモラレス社会主義運動党党首が当選した。

12月25日 新日鉄は、日本共産党員であることを理由に一九六〇年代からおこなわれてきた人権侵害や賃金差別の是正を求める争議で大阪高裁で和解。思想信条による差別をなくすと約束。

1月15日 チリの大統領選挙で社会党・中道連合の女性候補パチエレ前国防相が右派候補を破り当選。

1月19日 イタリアのマルティノ国防相が、イラクに駐留する部隊二千六百人を年末までに撤退させると発言。

1月23日 ライブドアグループによる証券取引法違反事件で東京地検が、同社社長だった堀江貴文容疑者と四人を逮捕。

2月9日 治安維持法による言論弾圧「横浜事件」の再審公判で、横浜地裁が有罪・無罪の判断をしない「免訴」の判決。

2月28日 ロシアのプーチン大統領は、ハンガリーで一九五六年に起きた国民の反政府行動を当時のソ連軍が弾圧した事件で「責任を感じている」と謝罪。

3月12日 米軍厚木基地の空母艦載機を米海兵隊岩国基地に移転することの賛否を問う岩国市住民投票がおこなわれ、投票率58・68%で有権者の過半数が反対の意思を表明した。

3月15日 国連人権委員会を格上げ、国連総会の補助機関として国連人権理事会を設置する決議を圧倒的多数で採択。

4月25日 口レ米国防副次官が在日米軍再編計画を実施するための日本側負担が二百六十億ドル(約三兆円)以上になることを明らかにした。

5月11日 インドのケララ州議会選挙で「左翼民主戦線」が過半数を獲得し、五年ぶりに州政権を奪還した。

5月23日 大手銀行六グループの〇六年三月期決算が出揃い、純益が三兆円を突破し過去最高を更新。

6月21日 BSE(牛海綿状脳症)の危険部位除去違反で輸入が禁止の米国産牛肉の輸入再開を日米が合意。

6月29日 休日自宅近くで「しんぶん赤旗」号外などを配り、国家公務員法と人事院規則違反に問われた社会保険庁職員の堀越明男さんに



- 3月18日 するたへ  
解放運動無名戦士合葬追悼会
- 3月19日 3・19中央集会
- 3月22日 中央三役会議
- 3月23日 中央常任理事会
- 3月24日 女性部、婦団連訪問
- 3月25～28日 国際部長ソウル市民団体との打ち合わせ
- 4月3日 日本国際法律家協会理事会
- 4月5日 国際部、日中友好協会中央本部訪問
- 4月19日 国際人権活動日本委員会幹事会
- 4月20日 葛飾ピラ弾圧事件第10回公判
- 4月29日 女性部「置き去りにされた朝鮮人慰安婦」展
- 5月1日 M-1デー会場で署名活動
- 5月3日 5・3憲法集会

- 6月23日 中央常任理事会、中央理事会
- 同 葛飾ピラ弾圧事件第13回公判
- 7月7日 日本国際法律家協会理事会
- 7月10日 葛飾ピラ弾圧事件第14回公判
- 7月19日 葛飾ピラ弾圧事件公判勝利決起集会
- 7月21日 国際人権活動日本委員会代表者会議
- 7月25日 中央三役会議
- 8月3～4日 故高嶋信敏副会長通夜・告別式
- 8月11日 婦団連 戦争は「めん女性のつどい」
- 8月15日 8・15全国一斉宣伝行動
- 8月28日 葛飾ピラ弾圧事件公判で無罪判決
- 9月3日 亀戸事件八十三周年記念集会
- 9月12日 葛飾ピラ弾圧事件勝利決起集会
- 9月12～13日 中国ブロック会議
- 9月13～14日 九州・沖縄ブロック会議
- 9月16～17日 北信越ブロック会議
- 9月18～19日 関東ブロック会議
- 9月19～20日 東北ブロック会議
- 同 近畿ブロック会議
- 9月21日 安保破棄実行委員会全国代表者会議
- 9月22～23日 四国ブロック会議
- 9月26日 暴走政治を許さない国会内集会
- 9月27～28日 北海道ブロック会議
- 同 東海ブロック会議
- 10月5日 中央三役会議
- 10月6日 中央常任理事会
- 同 金労連へ国会請願署名協力申し入れ
- 10月12～16日 韓国平和と連帯の旅(41名参加)
- 10月24日 国際人権活動日本委員会代表者会議

対し、東京地裁は罰金十万円、執行猶予二年の有罪判決。

7月2日 東大阪市長選で日本共産党員の長尾淳三前市長が自民・公明推薦の現職、松見正宣氏を破って当選。

7月9日 北朝鮮のミサイル発射に関連して額賀福志郎防衛庁長官が「敵基地攻撃」能力を日本が保有することは当然だと発言した。

7月16日 原爆投下を裁く国際民法廷が広島市で開かれ、米国の原爆投下が国際法に反するとして、すべての被爆者に謝罪し賠償するよう米国に命じた。米国のラトナーズ大学のレノックス・ハインズ教授ら三人の国際法学者が判事役。

7月20日 A級戦犯犯忌(こうし)に関して昭和天皇が「あれ以来(靖国神社を)参拝していない。それが私の心だ」と発言したとする元宮内庁長官のメモを二十日付「日経」が報じた。

8月2～9日 原水爆禁止〇六年世界大会が開会。海外から二十一カ国と国内から延べ一万人が参加。

8月28日 東京葛飾区のマンションで日本共産党の都議会報告などのピラを配った僧侶の荒川庸生さんが、不当逮捕された弾圧事件の判決公判で、東京地裁は無罪判決を言い渡した。

9月5日 アジア政党国際会議(七～十日)に出席するため日本共産党の志位和夫委員長が訪韓。同党党首が韓国を訪問するのは初めて。

9月20日 自民党の総裁選挙がおこなわれ、安倍晋三官房長官を新総裁に選出。

10月8日 安倍晋三首相が日本の首相としては五年ぶりに訪中し胡錦濤国家主席らと会談。悪化した日中関係を改善し、戦略的互惠関係の構築で合意。9日には韓国の盧武鉉大統領とソウルで会談し、歴史問題で冷え込んだ日韓関係を未来志向で立て直すことで合意した。

同 北朝鮮が地下核実験を実施したと発表。世界各国が強く非難。

10月29日 ブラジルの大統領決選投票で左派・労働党の Lula 大統領が再選。

10月31日 中国、米国、北朝鮮の六カ国協議首席代表が北京で会合。北朝鮮は昨年九月の共同声明と朝鮮半島非核化を履行する意思を表明し、六カ国協議への無条件復帰を確認した。

11月7日 中米ニカラグア大統領選で左派・サンディニスタ民族解放戦線党のオルテガ大統領が16年ぶりに当選。

11月15日 衆院教育基本法特別委員会が自民・公明両党は教基法改悪案を単独で強行採決。16日衆院本会議でも野党欠席のまま単独で採決を強行した。

〈3ページから続く〉

### 分散会討論のまとめ

女性部長 溝渕政子



二日間ご苦勞様でした。今年の第17回目は

29都道府県から75名の参加でした。今年も赤ちゃんの声の聞こえる会となりよかったです。

心が汚いのに美しい日本をつくるという安倍内閣が誕生しました。歴代総理のなかで憲法改定、教育基本法改定など正面から打ち出したのは安倍一人です。多くの先輩たちが戦争に反対し、主権在民を訴えて逮捕・拷問・虐殺されましたが、その遺志が今日の日本国憲法となっていることを誇りにこの一年女性部運動を進めてきました。

この間の女性の治安維持法犠牲者の多くが亡くなりました。けれども山梨でも山梨でも、その志を受け継いで活躍されておられることに大きな勇気をもたらしました。

昨年の分散会で「なぜいま女性部が必要か」という意見が出されみんなで勉強しましょうということとで終わっていました。ここで秋田県本部会長の近江谷さん(中央本部副会長)による特高警察の拷問の一部を読み上げます。「女性に

対する凄惨な拷問。丸裸にし、天井に吊し、両足首をロープで縛り、左右にぐつと引つ張る。性器を露出させて、数人の特高警察が卑猥な言葉を浴びせながら、恥毛の一本一本を焼いていく…。それは実名を出して語れないものである…」これが治安維持法なのです。だからこそ女性部が必要なのです。

つぎに、みんな頑張っている国賠署名活動ですが、署名活動は政治闘争であり思想闘争です。だから50万署名を達成することは、教育基本法・憲法改悪を打ち破る力になるのです。分散会では地域に応じた知恵と力を出そうと多くの発言がありました。また大阪では去年の参加者全員が会員拡大をや

り、山梨、兵庫では「お元氣ですか」の通信を出しています。今年の日本母親大会で「侵略戦

争に反対し、自由と民主主義を求めて弾圧された治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を行うとともに、再び国家権力による弾圧、戦争と暗黒政治を行わないことを求めま

## 国賠署名、全労連本部に要請

同盟中央三役は、10月6日全国労働組合総連合(全労連)本部を訪ね、国賠署名協力の要請文を手渡しました(左記)。全労連は全国傘下労組に連絡することを了承されました。なお日本母親大会実行委も、全国に署名用紙をおろしています。

貴組織の日頃のご奮闘に敬意を表すると共に、私たち同盟への熱いご支援に心から感謝申し上げる次第であります。

戦後60年余をへた今日において、日本の政府は、過去の侵略戦争と植民地政策による犠牲者に対して、今なお謝罪と賠償は言うに及ばず、その実態の調査すらおこなっておりません。とくに侵略戦争に反対し自由と民主主義のため

す」という決議が報告されました。来年は地方選、参院選です。自民党の勢力を上まわる選挙戦にし、そのためにも50万署名、会員拡大を成功させましょう。

唯一の証しとなるものです。

安倍新内閣は、日本国憲法を改悪して「戦争する国」づくりと国家統制の強化を公然とつたい、労働者・国民の暮らしと権利を破壊する貧富の格差を増大させ、戦後民主主義に逆行する反動ぶりをあらわにしました。私たち同盟の国会請願署名は、過去38年間毎年30万前後の署名を持って国会請願を続け、衆参両院議長にも直接要請し、今年も民主・共産・社民、一部自民党議員など108名の紹介議員を得ましたが、この成果をより大きくすることは、今日の憲法改悪、教育基本法改悪阻止の力を草の根から強めることにも相通するものと確信しております。

貴組織のお力添えをいただき、国賠署名のいっそうの促進をいただけるようご配慮、ご協力のほど要請する次第です。

同盟歌壇

碓田のぼる選

岐阜県 和田 昌三

優しさの底に強さの溢れ居ていわさきちひろの絵に人は酔う

〔評〕いわさきちひろ展の歌三首の投稿であったが、この一首をとる。結句も工夫した表現である。一首全体のリズムもよい。

和歌山県 中平 喜祥

「九条の会」五千を超え「日本の夜明けかも」とは澤地さんの声

〔評〕全国各地に「九条の会」の結成が相つぎ、すでに五千を超えたことを澤地久江さんは、期待をこめて新しい夜明けと評した。

静岡県 江川 佐一

谷越えて車窓に映るポスターよ「変えたらあかん憲法九条」

〔評〕谷の向うにポスターが立っていて、それを作者はいち早く車窓にとらえた。その言葉は、実感であり生活の言葉である。

東京都 若林 義文

イラク侵略を支えし政府これからの是非をめぐりて面白くなる

〔評〕イラク戦争の誤まりをブッシュが遂に認めた。アメリカ力強いりの政府はさてどうする、「ざまを見ろ」と言いたい。

新潟県 加茂川ハル子

高齢の母を介護しストレスで左耳難聴になりたり友は

〔評〕作者は、異なる素材による四首の投稿があったが、掲出の歌をとる。作者が歌いたい中心が割合よくとらえられている。

東京都 山崎 元

想い出をまぶたに描き詠む妻の雅趣味みきし青春の悔い

〔評〕妻の雅趣を疎んで来た作者の後悔、今にして妻の想いも理解出来るということであろう。老いた妻への思いやりがこもる。

書棚

『孫に語る―戦前と戦後』

葦沢忠雄 著 光陽出版社(二、〇〇〇円)

治安維持法犠牲者への国の謝罪と賠償の宿願を支持しながらも、世間の多くは、同盟の運動が戦前の歴史の真実を語り伝え、正しい歴史観を広めてほしいと期待しています。

一九二三年生まれといえは八四歳。長年「赤旗」紙編集にたずさわり、軽妙な筆致で聞こえる葦沢さんが、その期待に答えられたのがこの一書。『孫に語る』としたのは、現在の大学生姉弟の孫をモデルに現代から将来を担う二世紀の若者たちへの文化的プレゼントです。

孫たちとの会話から、太平洋戦争は「日本とアメリカが同盟を結んで、ソ連と戦った」と取り違えているのが特長。

全編問答形式も「孫たち」への心くばり。「明治憲法」「現行憲法」はじめ「教育勅語」「軍人勅諭」や「教育基本法」など、巻末の参照資料も多岐にわたって至便。

「原爆投下したのはだれか」「戦争に反対した日本人もいた」「日の丸・君が代をどう考える」など十四章にわたって興味をそそるテーマについて、体験をまじえて縦横に語っています。

戦後史についても、「勝ち組、負け組社会の病理」「効率優先社会の悲劇」「アメリカ追従病の被害」「人の命の大切さこそ」など八章にわたって今日の課題をふくめてわかりやすさを心がけているのが特長。

全編問答形式も「孫たち」への心くばり。「明治憲法」「現行憲法」はじめ「教育勅語」「軍人勅諭」や「教育基本法」など、巻末の参照資料も多岐にわたって至便。

(元)



# ふたたび戦争と暗黒政治を許さない

## 同盟 ホームページを開設

同盟 中央 治安維持法国際賠償 同盟中央本部のホームページを開設しました。ホームページには、同盟の最近の情報、「不屈」、「治安維持法と現代」最新号 目次、ニュース・新聞記事等の紹介、各種資料等へ

丸山三之助顧問が逝去  
同盟顧問の丸山三之助さん(92歳)は11月28日、肺がんのため死去されました。

### 事務局日誌

11月1日 N L G ビーター・アーリンダー弁護士歓迎会

## ふたたび財政活動の強化を訴えます

憲法九条を「五年以内に変わる」と登場した安倍内閣のもとで、「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟の活動はますます重要になっていきます。

あらためてこれまでのご協力が感謝するとともに、年末が迫りました。ふたたび財政活動強化を心から訴えるものです。

一、機関紙「不屈」で会員と金の納入を確実に。  
二、一五〇〇万円の年末募金を同盟の内外にひろげ目標を達成しましょう。  
三、新年号の名刺広告を昨年を上回る規模でとりくみましよう。  
四、『治安維持法と現代』の六年秋季号などを普及し、代金の納入を確実に。

介など、さらに充実していきます。ホームページアドレスは (<http://www17.plala.or.jp/chian>) です。

11月6日 日本国際法律家協会理事會

11月8日 青年劇場「族譜」打上げ會參加

11月10日 葛飾ピラ弾圧対策會議參加

11月11日 国際人權活動日本委員會總會參加

同 憲法會議擴大常任幹事會參加

11月12日 13日 第17回全國女性交流集會

11月15日 3・18合葬追悼會実行委員會參加

11月15日 「憲法を語る夕べ」參加

同 「不屈」編集會議

11月24日 「田中正造ドキメント」映画「試写會

11月25日 「大島千一日物語」出版記念會參加

11月29日 「不屈」編集會議  
11月30日 國際人權活動日本委員會代表者會議

### ●特集「教育基本法改悪を問う」

## 『治安維持法と現代』

2006年秋季号  
好評発売中

【主な内容】「教育基本法の改悪は何をねらうか」=藤田昌士、「政府の教基法案の全体的な問題点」=俵義文、「自然科学者の目から見た教基法改悪」=松川康夫など三氏が教基本改悪の問題点を詳述。治安維持法弾圧事件関連諸論文。「戦後補償問題のなかで同盟運動の先駆性を考える」論文も、学習に好適です。

A 5 版176頁・定価1000円、送料210円。各都道府県本部でお求めを。



企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟